

令和2年度第2回 国立大学法人新潟大学物品・役務等契約監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和3年2月19日（金） 13時00分～16時00分 新潟大学松風会館第二会議室
委員	委員長 田代文俊（監事） ， 委員 逸見和宏（監事） ， 委員 尾坂康弘（監査室長） ， 委員 山田 寿（弁護士）
審議対象期間	令和元年度（平成31年度）（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
抽出案件	政府調達（総合評価） 1件，政府調達（最低価格） 2件， 一般競争 3件，随意契約 3件 計 9件
質疑応答部署	財務部財務管理課， 学術情報部学術情報管理課， 医歯学総合病院管理運営課
委員からの質問・意見等， それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申， 勧告の内容	不適切な点， 改善すべき点はなかった。

【審議事項】 令和元年度に締結された契約のうち， 抽出された契約の審議

1. ハイブリッド手術室用治療装置システム （政府調達・総合評価）

質問・意見等	説明・回答
入札説明会参加者が5社であるのに， 入札は1社のみとなっている。 応札してこなかった4社については， 提案機器の性能などから， 新潟大学側が応札を認めなかったのか。	本学側から応札を認めないというようなことは一切ない。 提案できる機器の性能と本学の示す仕様とを比較した際に， 企業側が応札困難であると判断したものではないかと推測される。
海外メーカーの製品でも新潟大学の仕様を満たすものが他にはないのか。	本調達は多くの医療機器から構成されていることから， 全ての仕様を満たすものが無かったものと推測される。
仕様書はどのような過程を経て作成されるのか。	学内に設置する仕様策定委員会において審議・作成を行っている。 本件のような高額医療機器の調達においては， 本学が作成した仕様書の案に対して， 広く意見の招請を行った上で仕様書を決定している。

2. 心臓カテーテル用検査装置（政府調達・最低価格）

質問・意見等	説明・回答
政府調達について， 総合評価と最低価格の違いはどのようなものであるのか。	現在， 1500万円以上の調達を行う場合は， 政府調達の手続きを経る必要があり， 更に医療機器については， 概算額が5,800万円を超える場合に総合評価落札方式により調達手続きを進める必要がある。
審議番号1のハイブリッド手術室用治療装置システムとは違い， 1品の単独調達であるため， 多く者から応札が行われてほしい。 例えばメーカーが直接応札してくるようなことはできないのか。	当方も多くの者からの応札を望み， 広く公募・周知を行っているが， 複数者による応札を実現できないのが現状である。 入札参加資格さえ満たしていれば， メーカーからの直接応札ということでも構わないが， 業界の事情等で難しいのではないかと推測される。
参考見積書を徴取しているのが合併が予定されている2社というのは， あまり意味がないのではないか。	合併情報に関しては特段把握していなかったこともあり， 取引実績の豊富さから提出を依頼したものである。 他大学実績が得られない中で， より多くの情報を得ようと考えたものである。

3. 人工呼吸器①・② (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
市内の納入業者(=卸業者)は、定価に対してどの程度の割合でメーカーから仕入れているのかわかるか。	そのような情報は企業秘密であると思われるため、確認していないこともあり、全くわからない。

4. 清潔環境総合管理業務 (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
業務内容に関して、前回契約(H28.4.1-R2.3.31)と比べてどのように変更したのか。	日数等の変動はあるが、ほぼ内容の変更はない。
業務内容の変更がほとんど無い中で、なぜ落札金額が前回よりも下がったのか。	今回の入札価格が、前回の契約金額よりも廉価となった理由は把握できていない。
前回契約者が大阪市に本社のあるA社、今回契約者が品川区に本社のあるB社であるが、どちらも新潟市での業務をどのように行うのか。	新潟県内の業者に再委託することにより、業務を遂行しているものである。
再委託に関して、主たる業務を含めての再委託というのは可能とされているのか。	主たる業務の再委託については、製造請負契約基準の第5に「あらかじめ発注者の承諾を得た場合」に可能とされていることから、落札業者からの申請に基づき、許可を出しているところである。
日常清掃部分を再委託先の業者と契約することはできないのか。	清潔区域の清掃となると、資格者の配置が必要となるが、再委託先には、資格者がいないものと推測される。
再委託先の業務状況・体制に関しては、新潟大学もしっかりと把握・確認しておく必要がある。	

5. 肺血管拡張剤(吸入用ガス)及び一酸化窒素ガス管理システムの賃貸借 (随意契約)

質問・意見等	説明・回答
本件は一般競争を行わないのか。	地域ごとの取扱業者が決められているものであり、他社からの調達ができないものであるため、随意契約としているものである。
賃貸借ではなく購入という調達はできないのか。	可能であると思われるが、保守等を含めて総合的に考えると、賃貸借という形が最も適切であると考えている。

6. Academic Search Premierの利用 他3件 (随意契約)

質問・意見等	説明・回答
契約金額が上昇しているが、契約相手方が金額を釣り上げているのか。	国立大学の図書館で組織するコンソーシアムに本学も加入しており、コンソーシアムにおいて一括して価格交渉を行っている。契約相手方に一方的に金額を釣り上げられているということはないと認識している。
同時アクセス数に制限があるものがあるが、学内からの苦情・要望等が出ていないのか。また、学外で使用できるのか。	現状、大きなクレームを受けているということはない。なお、学外からもVPN接続することで閲覧することができるようになっている。

7. 自動細胞解析分離システム (政府調達・最低価格)

質問・意見等	説明・回答
入札説明会には落札者を含めて2社来ているが、応札したのは1社である。もう1社に応札を行わなかった理由を聞くことはできないのか。	通常、応札に来なかった理由を確認することは行っていないため、本件に関しても確認していない。
共用設備としての稼働状況はいかがか。	調達後の管理・運営は共用設備基盤センターが行っているため、特段把握していない。

8. 重油 JIS1種2号①・② (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
2件は同じものの契約であるのか。更新という位置付けでよいのか。	例年、冷暖房期のみ使用するため、7/1-3/31の契約としているが、今般成立した災害対策基本法に基づき、病院の自家発電用燃料として常備するため、4/1-3/31を契約期間としたものであり、年度更新というものである。
市内の公立大学などとの共同調達はできないのか。また、共同購入するように働きかけを行ってほしい。	各大学により調達規程等が異なるため、国立大学間の共同購入のようにはいかない可能性もあることから、簡単にはいかないものと考えられる。

9. IC学生証の作成 (随意契約)

質問・意見等	説明・回答
現在、学生が通学する機会が減少しているが、そもそも学生証は配付・使用されているのか。	配付・使用状況を確認してみる。
他者からの調達はできないのか。	今回調達した学生証は、学生の利便性を図るためにほとんどの学生が加入している新潟大学生協同組合員証と学生証を一体化させたものであり、他の国立大学の生協組合で使用している組合員証は、1社がまとめて作成等を行っており、新潟大学生協同組合もそこからしか調達できないことから、随意契約を行ったものである。

【講評】

医療機器に関しては、専門性・特殊性が高いものであるため、入札に馴染まないものが多数あるように思われるが、物品や役務の調達に関しては、このような仕組みにならざるを得ない。
本委員会の審議案件だけでなく、新潟大学が行う全ての物品・役務等の調達案件において、入札者が1者であることが多く、2者以上となることが非常に少ない。仕方のないことなのかもしれないが、もっと多くの者から競争に参加いただき、価格競争が行われることを期待したい。
契約行為そのもの妥当性だけでなく、契約後の履行状況においても動向を注視していく必要がある。
入札という行為自体が形骸化しているように思われ、落札率や入札参加者数などの面ですっきりしないと感じている。
重油が例となるが、他の大学・機関も使用するようなものについては、地域内での共同調達の道も考えてもらいたい。
予定価格積算内訳書の文言については、統一性をもって作成して欲しい。